

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	<p>大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人との繋がりでであることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。</p> <p>この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを持てるような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
住み続けたいと思う町民の割合	76.5%	80.5%			79.5%	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、町民の地域活動への参加やコミュニティづくりへの意識を高め、多様な主体が連携、協力することにより、地域の繋がりを支え合いを深め、変化する町民ニーズや地域課題の解決、さらには町全体の力の底上げを図る必要がある。併せて、公共施設の今後のあり方については、人づくり、地域づくりに資する拠点としての視点からの検討も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、従来施策の縦割りの弊害を解消し、部局横断的に、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]	
<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、行政からの一方通行の取り組みではなく、地域包括ケアシステムの構築に象徴されるような町民をはじめ多様な主体と行政が協力・連携することがより一層求められている。</p> <p>そのために、町は、地域の多様な主体が町民活動に参加した成果を実感できる仕組みを構築するとともに、公共施設の再配置や町有地の有効活用をはじめ、各計画等の進捗状況を積極的に情報提供した上で、ともに考え、行動することが重要である。</p> <p>なお、KPIの目標値については、今後の事業推進や評価を左右するものであることから、KPI「健康寿命(国保データベース)」及び「地区防災マニュアルの策定」については、町の実情や先々の計画等の明確な根拠の上に設定が行われることが望ましい。併せて、その目指すべき方向に向け、目標値にとらわれることなく、積極的な推進に努めることが期待される。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、複雑化・多様化する町民ニーズ等の新たな地域課題の解決に向け、地域の実情やニーズを把握し、地域コミュニティを主体としたまちづくりを推進するとともに、町民や団体等とより一層に連携・協力し、地域ごとの特性に配慮した効果的な施策の展開に努める。

併せて、町民をはじめとした多様な担い手との協働を推進していくため、公共施設のあり方の検討をはじめ、将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進にあたっては、従来の自治体主導の形のみならず、ホームページや広報紙・SNS等の活用により、現状や課題、進捗状況等について積極的に情報提供し、共有するとともに、ワークショップやアンケート等により、町民の意見聴取や対話の機会等を設け、広く理解と協力を得ながら、着実に推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「住み続けたいと思う町民の割合」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	<p>二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。</p> <p>より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。</p> <p>そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。</p> <p>定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町の人口	28,479人	28,271人			27,168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人	転出超過 43人			転出超過 58人以下	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>この町で新たな「人の流れ」を創出するためには、若者や地域外の第三者等、新たな視点や感性を積極的に取り込むとともに、地域の良さを理解し、愛着を持った次世代の地域づくりの担い手となる人材を育成する必要がある。併せて、町で取り組んでいる各種移住・定住支援メニューをニーズに合わせて見直し、利用を促進することで、移住・定住人口そのものの増加に繋げるとともに、移住・定住者が新たな移住・定住者を呼ぶ好循環を作り出すことも不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、施策の効果的・効率的な展開に向け、官民連携をより一層深め、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、日本全体が人口減少社会に突入り、都市間競争が顕在化する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、町の魅力とともに、認知度及びイメージのさらなる向上と、それを支える効果的な情報発信が不可欠である。</p> <p>そのために、行政主体の情報発信に加えて、町の魅力を伝える個人や団体の情報発信と有機的に連携するとともに、KPI「「にのみやLife」PRホームページの閲覧数」が目標値を大幅に上回った要因を分析し、今後の取り組みに活かすべきである。町の魅力の向上にあたっては、子どもたちの成長を地域と連携・協働して支えることで、町への愛着や誇りを育み、次世代の地域を担う人材育成に繋げることが重要である。さらに、生涯学習センターラディアンや図書館を、従来の手法にとらわれることなく、交流拠点や学びの場としての機能やイベント等を充実させ、抜本的に見直すことで、町民相互の交流促進や交流人口の増加、さらには移住・定住等、文化芸術を起点とした地方創生の実現が期待される。</p> <p>なお、数値目標「二宮町の社会移動数」は、その目標値が社会移動数を抑制しているとはいえ転出超過となっていることから、その要因を分析した上で、転入超過もしくは増減なしに見直すべきと考える。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえることに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、本町への移住に向けた具体的な行動に繋げるため、これまでの取り組みの成果と課題を整理・分析した上で、町の魅力の継続的な発掘とその発信方法を工夫することで、ターゲットに情報を的確に伝え、町への移住・定住の推進を図る。

併せて、生涯学習センターラディアンを活用し、町の文化芸術や自然環境、歴史等に関する活動を促進することにより、文化振興のみならず、地域への愛着や誇りを育み、将来の定住人口の増加とともに、交流人口や移住者の増加等に繋げる。

なお、外部評価において指摘があった数値目標「二宮町の社会移動数」の見直しについては、年度による変動が大きいことから、今後の推移を勘案した上で、次年度以降にその必要性を検討することとする。しかし、その達成手段である施策については、従来通り、目標の達成状況にとらわれることなく、常に上を目指して推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「二宮町の人口」及び「二宮町の社会移動数」の目標値を達成し、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
基本的方向	<p>町では、これまで妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援の充実・強化に向けた様々な取り組みを進めてきました。しかしながら、子育て家庭が抱える様々なニーズに対応するためには、行政サービスだけでは限界があります。父親の育児参加しやすい環境づくりや民間サービスの導入促進、地域ぐるみでの見守り・支え合い等を含め、様々な主体の連携・協力のもとで子育て家庭が安心して妊娠・出産・子育てできる環境を実現することを二宮町総合戦略の第3の目標とします。</p> <p>そのため、まずは子ども・子育てサービスに関する情報発信の強化や民間サービスを含めたサービスの更なる質の向上を目指すとともに、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを活かした、地域ぐるみでの見守り・支えあいの環境づくりを進めます。</p> <p>また、子育て家庭が子育てしやすい環境を整えるため、子どもが安全に遊べる環境づくり、子育て家族が安心して外出できる環境づくりを行います。</p> <p>さらに、子育てと仕事の両立を目指し、長時間労働の改善といった男性の働き方の見直し等を啓発し、子育て中の親が仕事と生活の調和を図ることができ、かつ、多様な働き方ができる環境づくりを行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32.0%	41.9%			40.0%	
合計特殊出生率	1.19	-			1.4以上	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」を達成するために設定した2つの施策は、順調に進行している。</p> <p>若い世代が結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境を実現するためには、子どもや各家庭の状況とニーズに寄り添った行政サービスの充実に加え、町民相互の子育て支援活動やネットワークの強化を図り、地域の子育て支援力の強化を図る必要がある。併せて、子育て支援に対する理解と関心を高め、地域全体で子どもや子育て家庭を見守り、応援する機運の醸成も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、行政をはじめ、町民、地域団体等、地域における多様な主体の連携、協力を促進しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>少子高齢化の進展により生産年齢人口が減少する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、地域の実情やニーズに合わせた子育て支援の量的な拡充や質的な向上を図るとともに、子どもを産み育てることを希望する若い世代が経済的安定を得て、この町に定住できるよう、仕事と子育てを両立できる環境づくりが求められている。</p> <p>そのために、従来から複数の部署で個々に行っている子育て家庭への各種支援施策を再点検し、妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対して、包括的・一元的な支援体制を整備し、各段階に応じた支援を連続性をもって行うことが必要である。併せて、引き続きワーク・ライフ・バランスの推進に向け、言葉自体の認知度向上や正しい理解のための普及啓発と並行して、性別を問わず、誰もが意欲に応じてあらゆる分野での活躍を可能とする環境の整備に向け、力強く取り組むことが重要である。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる環境づくりに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、子育て支援をワンストップで行う拠点として子育て世代包括支援センターを整備し、妊娠期から育児期における切れ目のない支援により、子育てに関する環境のさらなる改善を図るとともに、将来子育て世代となる若者に対し、妊娠前から正しい知識に基づくライフプランを立てることの重要性について、啓発を行う。

併せて、男女ともに仕事と家庭の両立ができる社会の実現に向け、事業者へ少子化対策への積極的な参画を働きかけるとともに、ワーク・ライフ・バランスに関する個人の意識啓発や事業者の取り組みを促進し、誰もが希望するライフスタイルの選択を可能にする環境の整備に努める。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合」及び「合計特殊出生率」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
基本的方向	<p>町が将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能なまちづくりを展開するためには、町内に新たな産業と雇用を生み出し、ヒト・モノ・カネを循環させることによって、町内経済を好転させ、人々が安心して生活を営むことができるまちをつくることが求められています。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するために、きめ細やかな対応によって身近な地域で働きたい人々の希望を叶える起業・雇用環境をつくることで、「誰もが生涯現役」となる環境をつくることを第4の基本目標とします。</p> <p>ベッドタウンである本町にとっては、日常生活に必要な小売業や医療・福祉サービスといった生活に密着した産業の集積が大きな課題です。そのため、既存産業に対する就業支援等を行うとともに、町の資源を活用した新たな産業の可能性についての検討や空き家・空き店舗と創業希望者とのマッチング支援等、新たな取り組み、起業・就業機会の拡大を促進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町民の就業者割合	54.3%	-			56.5%	

総合評価	<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」を達成するために設定した3本の施策のうち、2つは概ね順調に進行しているが、1つは見直しが必要である。</p> <p>安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、事業者に対し、総合的な支援策を継続するとともに、地域資源を活かし、新たな事業機会を生み出しやすい環境を整備することにより、地域経済全体の持続的な発展を図ることが必要である。併せて、働く意欲のある人の就業や起業を支援することにより、誰もが自分の知識や経験を活かしながら、社会の担い手として活躍できる環境整備も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、官民連携の一層の強化等、より実効性のある支援とするための見直しを行うとともに、地域特性や地域資源等と地域のニーズとのマッチングを推進することで、この町のポテンシャルを最大限引き出し、それを活用しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>人口減少社会においても、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、若者や子育て世代が希望を持って働き、暮らせることが重要であることから、地域における新たな雇用の創出や起業しやすい環境の整備が必要である。</p> <p>そのために、町は、既存事業者に対する総合的な支援に加え、地域資源を活用した創業や新規事業の展開、就農者の維持・確保や就農後の生産・経営の安定について、現場の声やニーズを踏まえ、必要に応じて見直した上で、支援策を展開する必要がある。併せて、人が集まり交流する場や機会の創出、自治体の枠を超えた連携の検討等により、この町に関わるさまざまな人や組織を繋ぐことで、多様なイノベーションを生み出し、それが新たな人をこの町に呼び込む原動力となることが期待される。</p> <p>なお、KPI「エネルギー・温暖化対策に関する計画」については、二宮町地球温暖化対策実行計画の区域施策編の策定を先延ばしにするのではなく、目標である31年度までに実現すべく、引き続きその取り組みを強力に進めるべきである。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、誰もが安心して定住し、働ける環境の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、既存の支援制度を利用者の視点に立った見直しにより、ニーズに応える支援策とするとともに、民間の力を積極的に活用することにより、より一層、実効性のある支援策を展開する。

また、従来の産業関連部局による画一的な産業振興施策の推進のみならず、現場の声やニーズを行政全体で共有することにより、事業本来の効果に加えて、地域産業の新陳代謝を高め、地域資源の新たな価値の創出やビジネスに繋げる視点を持った施策の展開に努める。

併せて、町内の人材や従来の手法のみならず、町外も含めた、多様な主体が地域社会に参画・連携することにより、さまざまな知恵と工夫を通じて取り組みの選択肢が広がり、地域資源の潜在的な価値の発見や新たな力の創出に繋がることから、自治体の枠を超えた連携も含め、町内外から人や組織が集まり、交流を促進する場づくりを検討する。

施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」については、二宮町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に限定せず、再生可能エネルギーの活用に向けた町民団体や民間事業者に対する支援の手法について検討を進める施策へと見直した上で、基本目標の達成に向け、着実に推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「二宮町民の就業者割合」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図る。 また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図る。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% (平成27年度アンケート)	79.5% (平成31年度アンケート)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
公共施設の総延床面積	67,824㎡	67,824㎡				67,506㎡以下	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
公共施設の総合的なマネジメントプロジェクト	I
大規模公有地の有効活用プロジェクト	I
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の策定方針を策定したが、財源の確保や民間との連携の可能性などの課題を含め、実施計画の策定を進める必要がある。 また、取り組みについては、広く町民に周知し、知っていただく必要がある。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- II：一部、事業を改善する必要がある
- III：プロジェクト全体を見直す必要がある
- IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針を策定し、次年度に策定する実施計画により計画的に事業を推進していく。また、二宮町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設だけでなくインフラについても計画的に事業を推進していく。なお、東大果樹園跡地は、シンボル事業に選定し、具体的な活用方法は町民ワークショップなども活用して検討を行う。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	公共施設再配置・町有地有効活用については、策定方針に基づき、今後、10年間に実施していく具体的な内容を実施計画としてとりまとめていく。その際には、様々な角度からの視点で検討を行う必要があるため、町民ワークショップや町民意見募集などを実施していく。
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、公共施設の再配置・町有地の有効活用は重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗としては結果に表れていないものの、具体的な事業は概ね予定通り進んでおり、目標達成に向け着実に推進していると考えます。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、単なる施設数や面積の削減ではなく、町民が安全で安心して利用できる施設やサービスの提供という観点から、町民参画や積極的な情報共有により町民の理解や協力を得ながら、将来における施設の適正配置や維持・管理、町民サービスのあり方等を踏まえたまちづくりの実現に向け、検討を行う。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	<p>高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図る。</p> <p>また、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図る。</p>

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% <small>（平成27年度アンケート）</small>	79.5% <small>（平成31年度アンケート）</small>

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
健康寿命（国保データベース）	男:65.9歳 女:67.1歳	男:65.9歳 女:67.1歳				男:67.0歳 女:68.0歳	
運動習慣がある人の割合	39.5% <small>H28アンケート</small>	38.1% <small>H29アンケート</small>				50.0%以上	
【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト	Ⅱ
みんなで健康づくりプロジェクト	Ⅱ
成果や課題 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を延ばすための活動の一つである「地域の通い場」が平成29年度に始まることに伴い、準備を進めた。 ・町民の声を（アンケートを実施）反映した高齢者福祉計画の改定につなげる。 ・がん検診等の受診率の向上 ・子どもからお年寄りまで、幅広い世代の健康づくりに取り組んだ。

該当評価にレを入れてください

【参 考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）
 Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
 Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
 Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	<p>地域支援事業の実施および計画策定に向け、検討・準備を行ってきた。また、福祉サービスについても妥当性、有効性などを考慮し29年度に向け見直し検討を行い、必要なサービスや事業は継続、改善に向け取り組んでいる。</p> <p>病気の早期発見、早期治療や重症化を防ぐためにも、がん検診・特定健診は有効であることから、未受診者への受診勧奨に力を入れて取り組む。</p>

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>地域の通いの場を中心に介護予防だけでなく、地域の困りごとを解決できる（生活支援）よう、地域の理解を得る。</p> <p>お互いさま推進協議会（町域の協議体）と一色小学校区福祉協議会（地域の協議体）との連携を図り、地域共生社会へ向けての動きを明らかにし、他の小学校区でも2層の協議体の必要性を理解してもらう。</p> <p>在宅医療介護連携事業の推進に努める。</p> <p>未病センターを設置し、町民の健康や運動に関する意識の向上に努める。</p> <p>併せて、県、民間事業者、県内自治体が連携して実施している未病サミットに参加し、イベントなどを通じて普及啓発を図ることで、町民一人ひとりの主体的な健康の維持・増進や健康意識の改革を図る。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、誰もが地域の中でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから各種取り組みを推進したが、KPIの進捗としてはいずれも十分とは言えず、取り組みの強化や事業の見直しを図る必要がある。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、関係機関や町民との連携を深め、地域資源や特性を生かした支援のネットワークの充実を図る。併せて、健康寿命の延伸に向け、健康増進への意識や運動継続への意欲の向上を図るとともに、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に健康づくりに取り組むことができる環境の充実を図る。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	地域コミュニティの醸成支援
概要	全ての世代がコミュニティ活動に参加しやすく、安全・安心に住み続けられるコミュニティの醸成を支援する。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% <small>（平成27年度アンケート）</small>	79.5% <small>（平成31年度アンケート）</small>

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
地域コミュニティに対する町民の評価（加重平均）	0.19	0.20 <small>H29アンケート</small>				0.50以上	
【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
みんなで地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針」を策定した。 ・一色小学校区地域再生協議会を設立し、各種部会が主体的に事業を展開した。 ・各地区へ地域活動支援交付金を交付し、地区の自主的な活動や運営支援を行った。 ・町民活動推進補助金ステップアップ支援については組織基盤強化に特化する見直しを行った。 ・「二宮町空き家バンク」の運用を開始したが、登録件数並びに成約件数共に伸び悩んでいる。

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）
Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	地域コミュニティの醸成支援のため、プロジェクトは予定通り進行しているが、一つ一つの実施計画事業については、一色小学校区地域再生協議会の自走に向けた支援、地域活動支援交付金の見直し、空き家対策の検討など、さらなる推進を図るため、一部事業を改善する必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	一色小学校区地域再生協議会については自走することを共通の目標に持ち事業の絞り込みを行う。 地域活動支援交付金については、全体的な仕組みを見直す。 空き家の利活用と並行して、空き家の適正管理の取り組みについて計画に位置付けていく。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他 []

意見等

安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、地域コミュニティの醸成支援は重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、KPIとしては若干の進捗が見られたものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。

今後さらに施策を推進するために、地域と町が地域コミュニティの現状と課題について共通の認識を持った上で、地域の担い手として、町民をはじめ、多様な主体が行動を起こすための機運醸成を図る。併せて、地域活動が活発に、そして自立した活動が展開できるよう、地域活動支援交付金のあり方を見直し、地域コミュニティの活性化に繋げていく。

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	災害や犯罪に備える地域づくり
概要	大規模な震災をはじめ、台風による高波被害、ゲリラ豪雨による都市型水害等の災害に対応するため、町民と協力・連携した防災・減災まちづくりの推進を図るとともに、消防・救急活動体制の強化を図る。 また、地域による防犯体制の充実や交通安全対策等、安全・安心なまちづくりを推進し、全ての町民が危険や不安を感じる事のないような体制づくりに努める。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% (平成27年度アンケート)	79.5% (平成31年度アンケート)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
地区防災マニュアルの策定	-	0地区				20地区策定	
防災・減災まちづくりに対する町民の評価（加重平均）	0.42 <small>H28アンケート</small>	0.52 <small>H29アンケート</small>				0.50以上	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

平成28年度は、地区防災マニュアルの策定に向け、手引き(雛形)を作成した。

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
地域ので災害に強いまちづくりプロジェクト	I
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区長防災研究会とともに検討し、地区防災マニュアル策定の手引き(雛形)を作成した。 ・今後は、地区防災マニュアル策定の手引き(雛形)を基に各地区の特性に合わせたマニュアル作成が必要となる。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- II：一部、事業を改善する必要がある
- III：プロジェクト全体を見直す必要がある
- IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	地区防災マニュアル策定を含め、交通安全、防災及び防犯等について、地域、行政及び関係団体が連携し、町内全域での安全安心なまちづくりを推進していく体制づくりが図られている。行政をはじめ、地域の安全力向上に必要な関係団体相互の連携強化を図るため、二宮町安全安心まちづくり推進協議会の効率的な運営を継続する必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	現在の連携体制及び関連活動の維持強化を図りつつ、地区防災マニュアル策定等による全町的な防災力向上を推進する。 併せて、関係機関との緊密な連携により、町内全域で安全安心なまちづくりを推進する体制の強化を図るとともに、地域の安全力の向上のため、見守り活動等を効率的、かつ、継続的に実施する。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p> 安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、災害や犯罪に備える地域づくりは重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗としては実績に繋がらなかった指標があるものの、具体的な事業は概ね予定通り進んでおり、目標達成に向け着実に推進している。 今後さらに施策を推進するために、持続性のある防災教育、普及啓発のあり方を考慮した上で、迅速かつ適切な対応ができる地域社会の構築のため、地域の実情に即したマニュアルの作成及び地域との連携による防災訓練の実施等により、地域、行政及び関係団体が連携し、町全体の自主的な防災・防犯意識の向上を図る。 </p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信
概要	「二宮町に住みたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイルを「にのみやLife」として確立し、そのプロモーション戦略を推進する。 新たな魅力を創出する、または既存の魅力を活かしながら更に魅力を高めることに取り組み、様々な世代の生活スタイル・ライフステージに応じた定住支援施策や移住支援施策の展開を図る。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 <small>（平成27年9月1日現在）</small>	27,168人 <small>（平成31年度実績値）</small>
二宮町の社会移動数	転出超過213人 <small>（平成26年度住民基本台帳）</small>	転出超過58人以下 <small>（平成31年度実績値）</small>

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
「にのみやLife」PRのHPの閲覧数	14,451	40,584				基準値の2倍	
空き家バンクに登録された空き家 （空き地を含む）の利活用件数	-	1件				5件	
【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
「にのみやLife」プロモーションプロジェクト	I
空き家を活用した定住希望実現プロジェクト	II
親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト	II
成果や課題 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション戦略、移住促進用パンフレットを作成し、「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊～」を結成し、移住セミナー等に積極的に参加している。移住者の実績も出てきているが、町が提供する空き家情報には限りがあり、利活用には至っていない。 ・各種助成事業等については、ホームページや広報誌等で当該制度の周知及び利用促進に努め、同居近居のための住宅取得2件、住宅改修1件の実績があった。

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- II：一部、事業を改善する必要がある
- III：プロジェクト全体を見直す必要がある
- IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
説明	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し新しい人の流れをつくるための「にのみやLife」の提案と発信は予定通り進行しており、新たな移住者も増えている一方で、町が情報提供する空き家の利活用には結びついていない。同居・近居制度をはじめとした住宅に関する各種助成制度について、引き続き、周知を図り、利用の促進に努めるとともに、趣旨や目的、利用実態等の現状を見直し、利用者にとって、分かりやすく、使いやすい内容に改善することについて検討する。また、空き家施策のあり方について、方向性を示す必要がある。	

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	産業振興課・観光協会との連携を図りながら「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊」の自由な発想を活かしたプロモーションを展開するとともに、神奈川県住宅供給公社や神奈川大学との連携やイベントなどを通じたお試し移住の可能性について検討を進める。 住宅に関する各種助成制度について統廃合を進めつつ、空き家については、適正管理や空き家にしないための方策を計画に位置付けるとともに、町民意識の向上を目的とした啓発を実施する。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]	
<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、「にのみやLife」を確立し、提案・発信することは重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗については概ね順調であったものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、各種補助事業をはじめ、移住・定住のための諸施策を利用者の視点から見直すとともに、それぞれの施策を有機的に結びつけ、効果的、効率的に展開する。併せて、「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、適切な情報発信を続けるとともに、町民や関係団体等の参加と協力を得ることで、町のアイデンティティを高め、それを町の認知度やイメージ向上に繋げる好循環を創出する。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	町の魅力を多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進める。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して町の自然や歴史・文化に触れられる機会づくりを進める。 また、観光で訪れた人に、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「このみやLife」の提案を推進する。 さらに、生涯学習センター・ラディアンを多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として町内外への発信力を強化する。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 <small>（平成27年9月1日現在）</small>	27,168人以上 <small>（平成31年度実績値）</small>
二宮町の社会移動数	転出超過213人 <small>（平成26年度住民基本台帳）</small>	転出超過58人以下 <small>（平成31年度実績値）</small>

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
生涯センター・ラディアンの施設稼働率	54.0%	55.1%				60.0%	
図書館の来館者数	217,925人	213,555人				240,000人	
文化・芸術活動に対する評価口加重平均)	0.04	0.08 <small>H29アンケート</small>				0.50以上	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト	Ⅱ
生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外に向けた情報発信は、これまでの取り組みにより一定の成果が上がっているため、継続する。 ・図書館事業の展開や町民へのPR(SNSの活用)により、利用促進を図ったが、さらなる利用拡大を図るため、方策を検討する必要がある。 ・文化事業や文化団体への支援を継続するとともに、ラディアン施設のさらなる活用を図る必要がある。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I: プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II: 一部、事業を改善する必要がある
 III: プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV: プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1: 基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2: 施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3: 施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4: 施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5: その他
	説明	施設稼働率や利用者の増加に向け、限られた資源を有効に活用しながら、利用者のニーズに応えるべく、創意工夫を重ねながら、取り組みを推進する必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	費用対効果を考慮した上で、利用者のニーズに応えるイベントの実施等により、施設利用者の維持・増加を図るとともに、情報発信を工夫することで、若年層を主体とした新たな利用者の開拓を図る。 また、SNSにより、図書館事業のPRを継続する。
----------------	--

最終評価者 [市内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等	<p>二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりは重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、KPIの進捗については基準値を下回った指標があり、十分とは言えず、取り組みの強化や事業の見直しが必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、文化団体等と連携し、町民が地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会を創出するとともに、学んだ人たちがその成果を地域に還元できる仕組みづくりを検討する。併せて、公共施設マネジメントを踏まえた文化施設の適切な維持管理とともに、その使われ方の質にも目を向け、町全体の文化力の向上と町民主体の文化活動の促進を図る。</p>
-----	--

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進する。 また、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細やかな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行う。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 (平成27年9月1日現在)	27,168人以上 (平成31年度実績値)
二宮町の社会移動数	転出超過213人 (平成26年度住民基本台帳)	転出超過58人以下 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	57.1%	59.7%				70.0%以上	
これからも運動を続けたいと思うと回答した児童生徒の割合	60.1%	67.6%				70.0%以上	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト	I
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年継続で行っている一色小学校へのコミュニティ・スクール導入準備については28年度は研修や啓発活動を中心に取り組んだが、地域の方々の理解を深め、協力体制を整えていくには、更なる取組が必要である。 ・小中一貫教育の検討を含む、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方については、検討の方向性を整理した。今後、実行計画を策定する予定である。 ・このプロジェクトは地域や様々な人々の多様な力を借りて学校づくりを行い、児童生徒を育てていくものであり、地域や人々との連携や情報の共有を特に重視していく。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II：一部、事業を改善する必要がある
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	☑	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	☐	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	☐	3:施策全体を見直す必要がある
	☐	4:施策を休止・廃止する
	☐	5:その他
	説明	これまでの取り組みにより、一定の理解を得てきたが、学校と保護者、地域が力を合わせて学校運営に取り組む環境づくりを目指し、さらなる理解と協力を得るため、引き続き、分かりやすく、丁寧な対応に努める。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>コミュニティ・スクールについては、啓発や情報発信等に工夫をし、地域の参加を広げる。また、モデル校として先行導入を目指している一色小学校に続き、他校においても導入に向けた準備を進める。</p> <p>小中一貫教育については、コミュニティ・スクールとの有機的な連携も見据え、今後の学校のあり方も含めた研究を継続する。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等	<p>二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗については概ね順調であるものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、地域の資源を最大限活かした教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携を図り、一体となって教育活動に取り組む。併せて、将来を見据えた学校教育・学校施設のあり方については、学校、家庭そして地域が互いの役割を認識し、子どもたちの教育に対する共通の認識と目標の下、検討を進める。</p>
-----	--

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図る。 また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行う。 さらに、地域ぐるみで子育て支援体制を構築し、安心して子育てできる環境整備を図る。 また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組む。

数値目標

指標名	基準値	目標値
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32% (平成27年度アンケート)	40% (平成31年度アンケート)
合計特殊出生率	1.19 (平成25年度実績値)	1.4以上 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
子育て環境に対する町民の評価（加重平均）	0.18	0.30 H29アンケート				0.50以上	
年少人口割合	10.7%	10.7%				10.2%以上	
待機児童数	10人	5人				0人	

【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子ども・子育て家庭への切れ目のない支援実現プロジェクト	Ⅱ
子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト	Ⅱ
成果や課題（箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンとファミリーサポートセンターの運営により、子育て支援体制の向上が図られている。 出生数は減少しているが、育児不安等の相談は増加傾向にあるので、相談窓口の紹介や関係各課、機関との調整が必要。

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）
Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的な相談ができる体制の整備により、子育て支援体制のさらなる強化が必要である。</p> <p>また、妊娠前からアプローチし、正しい知識や早い段階でのライフプランの設計の重要性等を知ってもらうことを通じて、出生率そのものの上昇を図る必要がある。</p>

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	平成29年度より子育て世代包括支援センターを開設し、保健師等の専門職による妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援を目指す。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくるためには、妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、KPIについては順調に進捗したものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。

今後さらに施策を推進するために、多様化する保育ニーズを反映しつつ、地域の実情に合った特色ある保育サービスの提供に努めるとともに、保育人材の確保を進め、短期的な問題解決だけでなく、中長期的な視点に立って、安心して子育てできる体制を構築していく。併せて、子どもは、次代を担う社会の一員であることから、家庭はもとより、地域、企業、行政等が連携・協力を深め、子育て支援体制の充実に努める。

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育てと仕事の両立の推進
概要	個人の価値観や生活スタイルに合わせ、誰もが多様な働き方を選択し、子育て世代のワーク・ライフ・バランスを実現するために、長時間労働といった働き方の改善や女性の就業継続・支援等を目指して、家庭や企業に対する意識啓発を推進する。

数値目標

指標名	基準値	目標値
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32% (平成27年度アンケート)	40% (平成31年度アンケート)
合計特殊出生率	1.19 (平成25年度実績値)	1.4以上 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
女性の就業率（25～44歳）	65.4%	-				70.3%以上	
男性の家事・育児時間	1時間21分	1時間16分				2時間以上	
役場男性職員の育児休業取得割合	0%	10%				10%	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

「女性の就業率(25～44歳)」は国勢調査の結果を実績としているが、当該調査の実施は5年に一度(次回は平成32年)であり、現時点では実績の把握ができないため。

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	・子育てと仕事の両立を推進するために、各種講座の開催やチラシ等の配布により周知・啓発を図っているが、数値目標達成に直結するものではない。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
- Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
- Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクトは順調に進行しているが、重要業績評価指標の達成には繋がっていないため、各実施計画事業について、プロジェクトが目指す方向性を意識しながら事業展開を図る必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、その必要性やメリットを理解した上で、各種事業を展開するとともに、二宮町次世代育成支援対策及び女性活躍推進法に関する特定事業主行動計画に基づき、まずは、役場内において仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを進め、対外的な発信へと繋げていく。また、各種講座・講演会を開催し、ワーク・ライフ・バランス実現のための普及啓発を図る。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくるために、子育てと仕事の両立を推進することは重要な施策であることから各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、KPIの進捗については基準値を下回った指標もあることから、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、社会全体の男女共同参画意識の底上げを図るため、その必要性をあらゆる世代が共感できるよう、引き続き、啓発活動を展開する。併せて、これまでの取り組みにより高まったワーク・ライフ・バランスに対する関心を具体的な行動の変化に結びつけるため、事業者としての二宮町は、職員一人ひとりが意欲と能力を発揮できる人材育成と職場環境づくりをより一層進め、内外の取り組みを牽引する。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
概要	町内の産業の活性化を図るため、商工会等と連携し、起業・開業支援を行う。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町民の就業者割合	54.3% <small>（平成22年国勢調査）</small>	56.5%以上 <small>（平成32年国勢調査）</small>

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移				目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30		
町内起業・開業件数（商工会加入件数）	-	11件			12件以上	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
二宮町での起業・開業応援プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会開催の創業塾に22名が参加した。 ・平成28年度新規開業者11事業者及び既存事業者11業者が商工会へ新規加入した。 ・町内で創業を目指す事業者への支援体制の構築に取り組むため、創業支援事業計画の策定を進める必要がある。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
- Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
- Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	商工会主催の創業塾において、定員を超える参加者がある等、町内での起業・開業機運が高まっていることから、現状の支援策を継続するとともに、起業・開業希望者のニーズを踏まえた支援の強化を検討する。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	町内における起業・開業機運の高まりを受け、早急に起業・開業の支援体制を構築する必要があるため、創業支援事業計画を策定し、国の認定を目指す。併せて、町内における起業・開業の実態を把握し、課題やニーズに対応する効果的・効率的な支援を推進する。
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	<p>二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるために、地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗については順調であるものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、社会経済情勢の変化やニーズを踏まえた上で、商工会をはじめとした関係機関と連携し、起業に関するさまざまな情報やノウハウの提供等により、起業を促進する体制の充実に努める。併せて、地域の資源や特性を活かした新たな産業の創出や空き家・空き店舗のマッチング支援等、新たなビジネスを生み、育てる取り組みを推進する。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討
概要	町内の地形等を活かした再生可能エネルギー導入の可能性を含め、計画を策定する。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町民の就業者割合	54.3% (平成22年国勢調査)	56.5%以上 (平成32年国勢調査)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移				目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30		
エネルギー・温暖化対策に関する計画	-	-			策定	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

二宮町地球温暖化対策実行計画の事務事業編は策定できたが、区域施策編は未策定である。

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
二宮の自然を活かしたエネルギー・温暖化対策プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定することができた。 ・地球温暖化対策検討委員会を開催し、「二宮町における再生可能エネルギー導入の可能性(適性)」、「再生可能エネルギー導入を含めた地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定」について検討を行い、町民の温暖化対策の意識付けを行う等、基盤づくりを優先すべきであるという方向性を見出すことができた。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I: プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II: 一部、事業を改善する必要がある
 III: プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV: プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1: 基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2: 施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input checked="" type="checkbox"/>	3: 施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4: 施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5: その他
説明	実行計画(区域施策編)の策定に際しては、区域の温室効果ガスの排出量の現況推計や将来推計を算出する必要があり、これには相当の時間を要するため、現状では策定することは難しい。そのため、まずは、町民の温暖化対策の意識付けを行うための基盤づくりを優先的に行っていることから、基本目標の達成に向けて、施策全体を見直す必要がある。	

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	「COOLCHOICE(賢い選択)」の賛同者拡大による温暖化防止に関する機運の向上を図る。地球温暖化対策検討委員会の検討結果を踏まえ、民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進に向けた支援等について、温暖化対策事業化実施研究会で検討する。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input checked="" type="checkbox"/>	5:その他[KPIの見直し]
意見等	<p>二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、実行計画(区域施策編)を策定するためには、町民意識の向上が優先すべき事項であるとのことから、基本目標の達成に向け、施策全体を見直し、それに応じたKPIを設定する必要がある。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、国や県のエネルギー政策や産業政策の今後の動向を注視しながら、本町の実情を踏まえ、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー事業に対する支援の手法について検討を進めるとともに、協働して推進するための基盤づくりを行う。</p>

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進める。 また、農業については、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等の総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進める。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町民の就業者割合	54.3% <small>（平成22年国勢調査）</small>	56.5%以上 <small>（平成32年国勢調査）</small>

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
二宮町における従業者数	5,568人	-				5,678人以上	
農業参入（法人・個人）数	2件	0件				2件（人） 以上増加	

【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）
「二宮町における従業者数」は経済センサスの結果を実績としているが、当該調査は平成28年6月1日時点で実施されているものの、現時点では確報値の公表が行われていないため。

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト	Ⅱ
就農・地産地消応援プロジェクト	Ⅱ
成果や課題 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中小企業の振興を図るために、商工会や商店連合協同組合と連携を図っているが、現状においては就業応援まで及んでいない。 ・遊休・荒廃農地は、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査において、増加傾向は見られないが、減少するまでに至っていないため、利用集積を促進する必要がある。 ・特産物のオリーブについては、果実等の販売や加工方法等が確立されていない。

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）
Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	平塚ハローワークに確認（平成29年2月）したところ、町内の約60事業所が求人募集を行っており、約150人の町民が求職者情報を登録しているが、企業側と求職者側とのズレが生じているため、原因の分析等が必要である。 平成28年度は、複数の就農相談を受けたが、新規農業参入には至らなかったため、更に農業参入しやすい環境づくりのサポート等を行う必要がある。 特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等を確立する必要がある。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	今後においても法律等の動向を注視するとともに、ハローワーク等と連携を図り、雇用の促進を図っていく。 農業については、遊休・荒廃農地の解消と新規農業参入者の増加や利用集積の促進を図る。 また、特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等の確立を図る。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等

二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用の創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、KPIの進捗については実績の把握が困難な指標や実績に繋がらなかった指標があるため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。

今後さらに施策を推進するために、商工会や商店連合協働組合、ハローワーク等と連携し、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、経営と雇用の両面から事業者を支援することで、雇用の維持・促進を図る。併せて、農業については、国の政策が大きな転換点を迎えていることから、情報収集に努めるとともに、農業者や関係機関との連携により、農業の持続的発展と加工等による高付加価値化に向けた支援を継続する。